

英語 (English)

主題別英語 (Thematic English)

(総科 ((人文・社創・総理 A)1 年))

前田 一平 / 鳴門教育大学

1 単位 後期 木 1・2

(平成 19 年度以前の授業科目: 『主題別英語』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『英語 (2)』)

【授業の目的】 英語文献やインターネット検索の英語情報を正しく理解することは、現代を生きる我々にとって必須の能力・技術・教養である。これを受けて、本授業は英文読解力の養成を目的とする。特にパラグラフ・リーディング (段落ごとに内容を確認し、一節全体の論理的構造を把握し、最終的に主張や主旨および結論を理解する読解方法) の実践による読解力養成を期する。

【授業の概要】 個々の英文については和訳をせず、長い文章や複雑な文章の構造を指摘することを基本とする。不必要な和訳は避け、パラグラフの内容を解読する練習をする。全体の主旨の理解を確認するべく様々な問題練習を行う。練習問題と英文の問題点について常に受講生に質問し、予習状況を確認しながら授業を進める。高等学校までと比較して”one up”の授業を展開する。

【キーワード】 英語リーディング, パラグラフ・リーディング, 英文構造理解, 語彙

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【到達目標】 徹底的に英語を読むことによる英語基礎力の伸長と文構造理解。

【授業の計画】

1. Introduction
2. Conclusion/Reasons
3. Analysis
4. Theory/Proof
5. Controversy
6. Comparison/Contrast
7. Classification
8. Midterm exam. (中間試験)
9. Instructions
10. Chronological Order (History)
11. Cause & Effect
12. Process
13. Explanation (New Product)
14. Definition

15. Final exam. (学期末試験)

16. 総括授業

【教科書】 Skills for Better Reading (Revised Edition) (南雲堂)

【参考書等】 英和辞書を常に持参すること。電子辞書の使用も OK だが、購入する場合は英語辞書に『リーダーズ』があるものを推薦する。

【成績評価の方法】 中間試験 (50%) と学期末試験 (50%) を評価の基本とする。これに受講姿勢の評価を加味して総合的に評価する。

【再試験の有無】 無

【講師へのメッセージ】 予習は不可欠。授業の中で予習と理解の有無を常に確認する。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221157>

【連絡先 (オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 前田 (kmaeda@naruto-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: kmaeda@naruto-u.ac.jp 遠距離なので、オフィスアワーを利用することは不可能と思える。ただし、Eメールでの相談・指導は時間を問わず可能である。または、授業後などに相談されたし。)

English

Thematic English

(総科((人文・社創・総理A)1年))

Kazuhira Maeda / NARUTO UNIVERSITY OF EDUCATION

1 unit 後期 木 1・2

(平成19年度以前の授業科目:『主題別英語』) (平成16年度以前(医保は17年度以前)の授業科目:『英語(2)』)

Target 英語文献やインターネット検索の英語情報を正しく理解することは、現代を生きる我々にとって必須の能力・技術・教養である。これを受けて、本授業は英文読解力の養成を目的とする。特にパラグラフ・リーディング(段落ごとに内容を確認し、一節全体の論理的構造を把握し、最終的に主張や主旨および結論を理解する読解方法)の実践による読解力養成を期する。

Outline 個々の英文については和訳をせず、長い文章や複雑な文章の構造を指摘することを基本とする。不必要な和訳は避け、パラグラフの内容を解読する練習をする。全体の主旨の理解を確認するべく様々な問題練習を行う。練習問題と英文の問題点について常に受講生に質問し、予習状況を確認しながら授業を進める。高等学校までと比較して"one up"の授業を展開する。

Keyword 英語リーディング, パラグラフ・リーディング, 英文構造理解, 語彙

Fundamental Lecture [先行科目]

Relational Lecture [関連科目]

Goal 徹底的に英語を読むことによる英語基礎力の伸長と文構造理解。

Schedule

1. Introduction
2. Conclusion/Reasons
3. Analysis
4. Theory/Proof
5. Controversy
6. Comparison/Contrast
7. Classification
8. Midterm exam. (中間試験)
9. Instructions
10. Chronological Order (History)
11. Cause & Effect
12. Process
13. Explanation (New Product)
14. Definition
15. Final exam. (学期末試験)

16. 総括授業

Textbook Skills for Better Reading (Revised Edition) (南雲堂)

Reference 英和辞書を常に持参すること。電子辞書の使用もOKだが、購入する場合は英語辞書に『リーダーズ』があるものを推薦する。

Evaluation Criteria 中間試験(50%)と学期末試験(50%)を評価の基本とする。これに受講姿勢の評価を加味して総合的に評価する。

Re-evaluation 無

Message 予習は不可欠。授業の中で予習と理解の有無を常に確認する。

Contents <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221157>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Maeda (kmaeda@naruto-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: kmaeda@naruto-u.ac.jp 遠距離なので、オフィスアワーを利用することは不可能と思える。ただし、Eメールでの相談・指導は時間を問わず可能である。または、授業後などに相談されたし。)